

# 》2023年度《 一般勘定・介護勘定 **決算**

医療費や納付金が増加し、別途積立金繰入がなければ**実質収支は赤字の状況**

7月19日(金)に開催された組合会にて、全員一致で可決、承認されました。

## 一般勘定 (健康保険)

実質収支 **78百万円の赤字**

収入総額  
**12,279**  
百万円

※単位以下の四捨五入により総額と各項目の合計額が異なります。

**健康保険料 11,742百万円(95.6%)**

健保組合の主な収入源は、みなさんと事業主から納めていただいた保険料です。  
2023年度の保険料率は1000分の91.0でした。

調整保険料収入 170百万円(1.4%)  
財政調整事業交付金 163百万円(1.3%)

繰入金 150百万円(1.2%)  
その他収入 53百万円(0.4%)

支出総額  
**12,207**  
百万円

**保険給付費 6,309百万円(51.7%)**

**納付金 5,369百万円(44.0%)**

みなさんが病気やケガをしたときにかかった医療費等の支払いにあてられます。

世代を超えた保険の支え合いとして、高齢者の医療費を健保組合等の保険者が国に納付しているもので、健保組合にとって大きな負担となっています。

事務費 108百万円(0.9%)

疾病予防のための各種健診・保健指導、体育奨励、契約保養所・常備薬斡旋などにあてられます。

保健事業費 242百万円(2.0%)

財政調整事業抛出品 170百万円(1.4%)

営繕費 4百万円(0.0%)

連合会費 5百万円(0.0%)

### ● 支出を1人当たりでみると…



### 決算の基礎数値(一般勘定)

被保険者数 19,491人  
平均標準報酬月額 416,783円  
総標準賞与額 33,982百万円

### 保険料率引き上げの 検討が必要です

健保組合を取り巻く情勢は、今後の医療費等の増加や高齢化の進展による納付金等の増加に抗うことができないほど、厳しい状況に置かれています。当健保組合といたしましても、従来にも増して事業の見直しや、事務の効率化等による経費削減に取り組んでまいりますが、**現行の保険料率では別途積立金が枯渇し、みなさんの医療費等の支払いに支障をきたす恐れがあるため、近い将来には、保険料率引き上げの検討が必要です。**何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



## 介護勘定 (介護保険)

実質収支 **25百万円の黒字**



健保組合では、40～64歳の本人加入者から介護保険料を徴収し、国に納めています。2023年度の介護保険料率は1000分の17.6でした。

収入総額  
**1,521**  
百万円

介護保険収入  
1,521百万円

支出総額  
**1,496**  
百万円

介護納付金  
1,496百万円